

国土交通副大臣

酒井 庸行 様

要 望 書

緒川ポンプ場の排水ポンプ増設工事に係る
下水道防災事業費補助の満額確保について



2026年 8 月

愛知県知多郡東浦町

緒川ポンプ場の排水ポンプ増設工事に係る 下水道防災事業費補助の満額確保について

豪雨による水害の危険性を軽減し、住民の生命と財産はもちろん、社会や経済活動を守ることを目的として、本町では、緒川ポンプ場の排水ポンプの増設工事を進めています。本工事を計画的に進めるため、所要額の満額確保を図ることができるよう、引き続き財政支援の継続をお願いします。

○緒川ポンプ場の概要・経緯

緒川ポンプ場は、2000年9月の東海豪雨により、大きな浸水被害を受けた緒川地区一帯の不安の解消と、緒川駅東土地区画整理事業の実施に併せて2001年度より整備が行われ、2005年3月に運転を開始しました。

放流先の2級河川五ヶ村川には放流量に制限があり、また、緒川ポンプ場のとなりには既設の農業用排水機場があるため、現在は暫定排水量(5.1m³/s(将来7.0m³/s))での運転となっています。

緒川排水区は現在、緒川ポンプ場と2つの農業用排水機場で雨水排水をしていますが、農業用排水機場については設置後40年が経過し老朽化が進行しています。さらに、緒川地区においては土地利用の転換により、農地が減少しており、農業用排水機場の必要性が低下している状況です。(農業用排水機場の更新に必要な受益地がない状況です。)

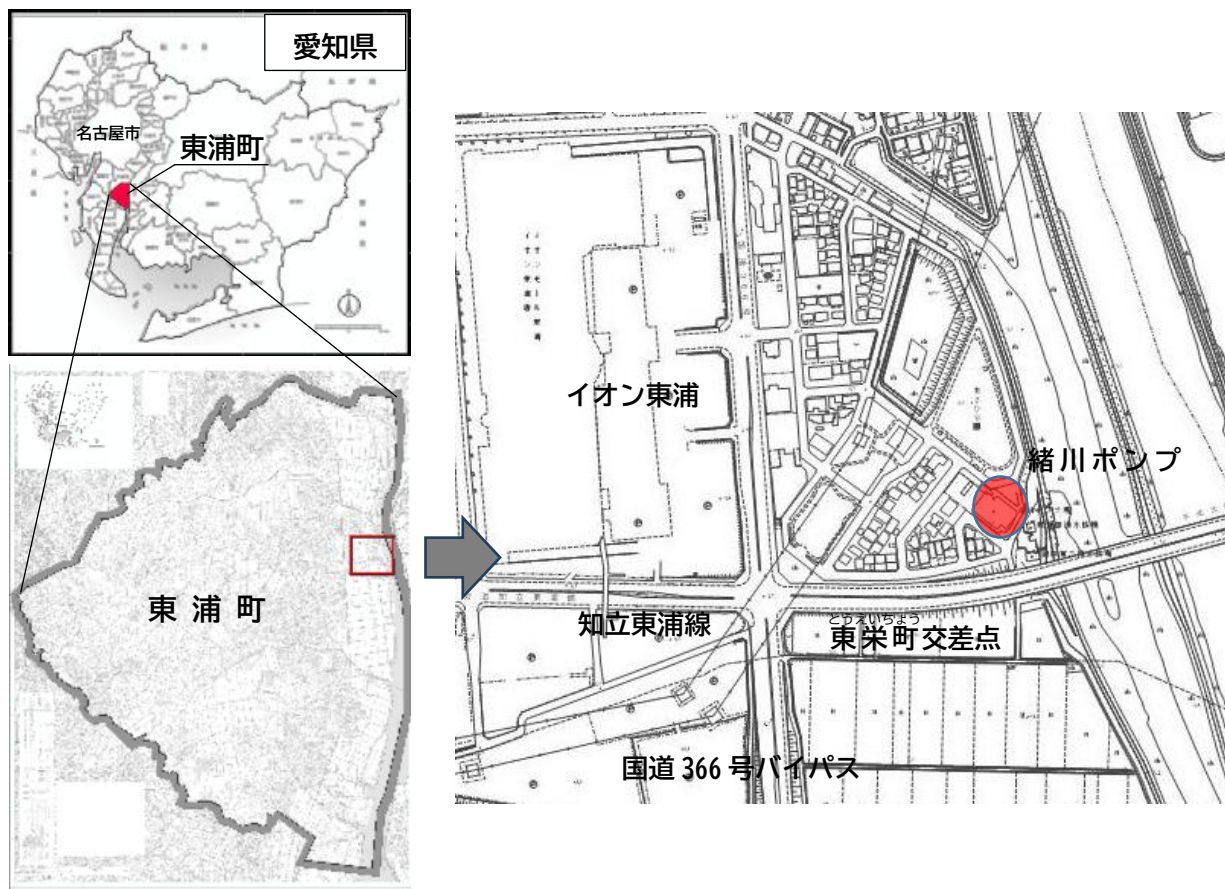
これらの課題や激甚化する気候変動から住民の生命・財産や社会経済活動を守るため、危機管理投資は不可欠であるとともに、雨水対策事業は、国土強靱化の推進や「地域未来戦略」で掲げられている「持続可能なインフラの実現」に資する重要な取組です。

こうした状況を踏まえ、計画的な排水ポンプの増設と早期の機能発揮を進める必要があります。

ポンプ増設にかかる費用(見込み額)は下表のとおりです。

年 度	国費要望額	交付決定額	事 業 費	補助金等の別	事 業 概 要
2025(令和7)	8,500	8,500	17,000	社会資本	実施設計
2026(令和8)	252,400	190,000	397,680	社会資本	排水ポンプ φ900 1台
2027(令和9)	440,660		1,071,320	大規模雨水処理施設 整備事業	その他操作盤等の付帯設備 の作成及び設置
合 計	701,560		1,486,000		

【緒川ポンプ場位置図】



【ポンプ設備】



【東海豪雨時の緒川地区の状況（2000.9）】



桜並木と於大まつり

東浦町は、徳川家康の母「於大の方」が生まれ育った地であることから、1989年度(平成元年度)に地域振興のために行われた「ふるさと創生一億円事業」を活用し、町の中心部を流れる二級河川明徳寺川兩岸を歴史散策路「於大のみち」として整備しました。

於大のみちは河川の兩岸約二キロメートルにわたっており、於大の方の生い立ちをイメージして設置された彫刻や於大の方と家康が秘かに再会したエピソードをもとに作成されたモニュメントなどが設置されています。

また、八重桜の植樹も行っており、カンザンやフゲンゾウなど約 20 種類、330 本の八重桜が植樹されています。

八重桜が満開を迎える4月中旬には、歴史と文化の春まつりとして「於大まつり」が開催されるなど、東浦町の名所の一つとして、町内外から多くの方が訪れるスポットとなっています。



◀於大まつりでは、抽選で選ばれた於大姫や、鎧を着た武者が満開の八重桜の下を練り歩きます。

▼八重桜が咲き誇る於大のみち



▲於大の方の生い立ちをイメージして設置された彫刻

